

System-V

[180] 償却資産申告書

(22. 1)

【取扱説明書】



株式会社タテムラ

目 次

概 要

概 要	1
操作の流れ	2
入力・訂正機能（各キーの機能説明）	7
住所入力の便利な機能	8
入力画面の説明（サブミット・チェックボックス・ラジオボタン・自動計算 手入力可能枠・手入力枠・画面サイズ切替・プレビュー 印刷・マウス機能・セレクトボタン・コピー・検索） ...	9

入 力

[11]償却資産申告書メニュー	1 5
[11]償却資産申告書	1 7
[12]全資産用	2 0

出 力

プリント	2 3
ページプリンタのオフセット調整の操作	2 5
償却資産申告書出力サンプル	2 6
[10]減価償却読込み	3 3

年度更新

年度更新内容	3 7
--------------	-----

マイナンバー関連

税務マイナンバー用データ搬出プログラムについて	3 8
法人・個人番号印刷方法	4 3

※ドットプリンタ出力は、現在サポートしていません。※

年度更新及びユーティリティ・その他メンテナンス操作につきましては
「[F9] [F10] [F17] GPメンテナンスプログラム取扱説明書」をご覧ください。

概要

- このプログラムは、本年の償却資産申告書について必要なデータを画面上で入力し、プリントするためのプログラムです。作成できる帳表は下記の4種類です。

償却資産申告書・種類別明細書(増加資産用・全資産用・減少資産用)

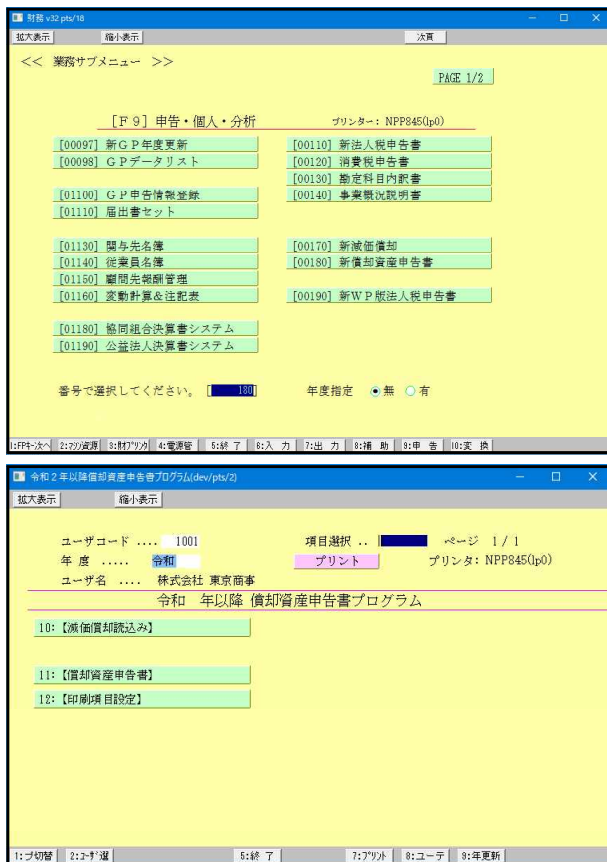
- 1 ユーザコードにおいて、全40市区町村申告先を登録することができます。
(別売の電子申告システムにて地方税電子申告変換・送信に対応しております。)
- プリント用紙
白紙A4コピー用紙に打ち出します。
カラープリンタに対応しています。
- 種類別明細書につきましては、データ入力時には全資産(減少資産含む)を入力して頂き、
全資産、増加資産、減少資産の指定に合ったデータを自動抽出してプリントします。
- リアルタイム計算
数字の変更に伴い合計表示が変わるリアルタイム計算です。1表内での演算は不要です。
- マウス操作
マウス操作が可能です。マウスメニューに操作補助機能があります。
- [170]減価償却データの読込みが可能です。
※読込む申告先を指定できます。
詳しくは(P.33～)を参照してください。

端末使用上の注意

1 台のホストマシンに対して複数の端末を接続している場合は、次の注意事項をお守りください。

- 1) 同一年度のユーザコードに対し複数の端末から同時に操作を行っている場合は、データを破損してしまう恐れがありますので、ユーザコードの変更・ユーティリティ内のデータ削除は行わないでください。
- 2) 同一年度のユーザコードに対する作業は、入力と出力を同時に行わないでください。リアルタイム計算を行いますので、データ入力が進むにつれ、表内の金額がその都度変わります。出力は全ての入力終了後に行ってください。

● 呼び出し方



1. **[F9]** 申告・個人・分析を選択します。
2. 新償却資産申告書のプログラムを選択します。
[180] **[Enter]** を押します。
3. 償却資産申告書の画面を表示します。

< 画面説明 >

10: 【減価償却読み込み】

[170]減価償却のデータを償却資産申告書へ変換します。
変換はユーザーコード・年度・申告先コードを指定して変換します。(40申告まとめて変換可能)
変換時に全データ上書きか指定期間データのための追加かを選択できます。

11: 【償却資産申告書】

償却資産申告書及び各資産のデータを作成します。
種類別明細書につきましては、全資産用で増加・減少を含むすべての資産を入力し
印刷時に全資産又は増加・減少資産に打ち分けします。

12: 【印刷項目設定】

『印刷する項目』、『印刷しない項目』を指定します。

● 入力方法

1. 「ユーザコード」を入力します。
※ ユーザコードを入力すると、登録しているユーザ名と年度を表示します。

※ 新規登録の場合はユーザコード、年度を入力後、**新規作** (F3)を押すと、左下図の画面を表示します。
『ユーザ名』入力後、**新規作**(F3)を押してください。

● データ変換を行わずに入力をする場合 → P.4 2.へ

● [170]減価償却データからデータ変換を行う場合 → 以下の作業 → P.4 2.へ

- ①[10]減価償却読込みを選択します。
- ②左図の画面を表示します。
- ③減価償却データのユーザコードと年度を指定します。
減価償却の各データ入力において、申告先Noを登録している場合には申告先ごとに変換することも可能です。
ユーザコードが複数にまたがっている場合も、ひとつのユーザコードに変換することが可能です。
また、全上書きか、指定期間のデータを現在あるデータに追加するかを選択できます。
- ④変換作業が完了しますと結果を表示します。

※[10]減価償却読込みの詳細につきましては P.33～をご参照ください。

令和2年以降償却資産申告書プログラム(dev/pts/2)

拡大表示 縮小表示

ユーザコード 1001 項目選択 .. ページ 1 / 1
 年度 令和 プリント プリンタ: NPP845(lp0)
 ユーザ名 株式会社 東京商事

令和 年以降 償却資産申告書プログラム

10:【償却資産読み込み】

11:【償却資産申告書】

12:【印刷項目設定】

11:【償却資産申告書】 1001(dev/pts/13)

拡大表示 縮小表示

償却資産申告書

申告先No.は1~40まで登録できます。No.と提出先名は必ず入力してください。

申告先No. 1 新宿 都税事務所長

申告先一覧の表示はここをクリックしてください。

【※ 必須項目 ※】

☒法人 ☐個人 ←申告先No.1でのみ変更可
☒本店 ☐支店 ☐寮等
☒全資産 ☐増加・減少

選択No. []

[11] 償却資産申告書
 [12] 全資産用

4:抹消 5:終了 7:演算

2. [11]償却資産申告書を選択します。

3. 左下図の画面を表示します。

4. 申告先Noと申告先名は必ず入力してください。
 (旧償却資産データ変換を行っている場合は
 申告先名を表示します。)
 又、申告先No.1は本店となりますので、
 本店は必ずNo.1で登録してください。

5.法人・個人の指定を申告先No.1で行います。

6.申告先ごとに本店・支店・寮等の指定をします。
 全資産・増加資産の指定も行ってください。
 ※種類別明細書の印刷時判定となります。

7.[11]償却資産申告書を選択します。

sa11:【償却資産申告書】 1001 (dev/pts/8)

拡大表示 標準表示

令和 ○年度
 償却資産申告書(旧償却資産課税台帳)

提出年月日は入力

提出年月日 令和2年 1月 31日 電子申告専用 *所管者コード
 新宿 都税事務所長 都 市町村コード: 13104
 市町村名: 新宿区 120004

1 住所 (法人/個人) 東京都新宿区西新宿2-8-1
 2 氏名 (法人/個人) 株式会社東京商事
 3 個人番号/法人番号 12345678901234

4 事業種別 1 製造業 5 税額計算方式選択 ☒有 ☐無
 6 申告期間 令和2年 4月 7 増加減の届出 ☒有 ☐無
 8 この申告に 10 無償提供の家賃 ☒有 ☐無
 応答する者 11 無償提供の特例 ☒有 ☐無
 12 特別減額又は圧縮配賦 ☒有 ☐無
 13 税額計算上の償却方法 ☒定率法 ☐定額法
 14 青色申告 ☒有 ☐無

7 税額計算等の氏名 15 申告書の提出先
 東京都新宿区西新宿2-8-1
 16 申告書の提出先
 東京都新宿区西新宿2-8-1

17 事業所用家賃の所在区分
 18 償却別明細
 19 法人/個人番号
 20 法人/個人番号
 21 法人/個人番号
 22 法人/個人番号
 23 法人/個人番号
 24 法人/個人番号
 25 法人/個人番号
 26 法人/個人番号
 27 法人/個人番号
 28 法人/個人番号
 29 法人/個人番号
 30 法人/個人番号
 31 法人/個人番号
 32 法人/個人番号
 33 法人/個人番号
 34 法人/個人番号
 35 法人/個人番号
 36 法人/個人番号
 37 法人/個人番号
 38 法人/個人番号
 39 法人/個人番号
 40 法人/個人番号

4:抹消 5:終了 7:演算 8:GP申告

8.左図の画面を表示します。
 必要事項を入力してください。

GP申告情報登録より、住所・
 法人名・氏名等を転記します。
 「F8:GP申告」にて、氏名等
 の登録変更が可能です。

sa11:【法人登録】 1001 (dev/pts/10)

拡大表示 縮小表示

「※」は電子申告必須項目なので電子申告する場合は必ず入力してください。転記 税理士登録 印刷

ユーザコード: 1001 ユーザ名: 株式会社 東京商事

● 法人登録 ↓のクリックすると事業年度をコピーします

事業年度 ※ 令和 年 4月 1日 ~ 令和 年 3月 31日 初上月数 12
 課税期間 ※(消費税) 令和 年 4月 1日 ~ 令和 年 3月 31日 初月数 12
 会計データ期首年 令和 年 会計期間 令和 年 4月 1日 ~ 令和 年 3月 31日
 中間申告期間 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日
 決算の確定日 令和 年 5月 25日 提出年月日 令和 年 5月 31日

法人区分 ☒普通法人 ☐公益法人 ☐協同組合等 ☐非中小法人
 青色・白色区分 ☒青色 ☐白色 整理番号 12345678
 法人番号(13桁) ※ 12345678901234 ※法人用マイナンバーです
 利用省識別番号 ※ 2230081407200218 利用ID(地方) ※
 ふりがな かぶしがいしゃとうきょうしょうじ 敬称
 フリガナ (半角) かぶしがいしゃとうきょうしょうじ
 法人名 ※ 株式会社 東京商事
 法人 〇 株 〇 股
 〇 有 〇 先

1:前表 2:次表 4:抹消 5:終了 7:演算 8:電子登録

9. [12]全資産用を選択します。
増加・減少を含む全ての資産を入力します。

行No.	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月日	取得価額	耐用年数	減価残存率	前年評価額	価額	課税標準額	課税標準率	増加	減少	増加・全減
1	1	A100000001	アスファルト舗装工事を	1	27・4・1	3,850,000	10	0.897		3,274,050	3,274,050	1			
2	2	B100000001	オフセット印刷機	1	27・8・10	7,828,000	10	0.897		6,578,216	6,578,216	1			
3	2	B100000002	製本用機械	1	17・8・10	1,650,000	7	0.720	82,500	82,500	82,500	4			
4	2	B100000003	デジタルビデオ機	1	18・8・10	8,998,500	4	0.562	449,825	449,825	449,825	3			
5	8	C100000010	立機セット一式	1	27・8・10	1,260,000	8	0.875		1,102,500	1,102,500	1			

● プリント方法

※ 出力を行います。

1. プリントをクリック、又は「F7:プリント」を押します。

12: 印刷項目設定 0142 (dev/pts/2)

次回よりこの対話を自動表示しない場合は、チェックしてください。

【印刷項目設定】

【印刷する場合にチェックを付ける項目】

- ☐ 提出先の印刷（増加、全資産・減少資産）

【印刷しない場合にチェックを付ける項目】

- ☐ 提出用
- ☐ 控用
- ☐ 法人番号 ※個人番号は印刷時に指定
- ☐ 申告年度（減少資産）
- ☐ 数量小計（増加、全資産・減少資産）

2. 印刷項目設定を表示します。
『印刷する項目』、『印刷しない項目』を指定します。

【印刷する場合にチェックを付ける項目】

増加、全資産・減少資産に任意で提出先名を印刷する場合はチェックを付けてください。

【印刷しない場合にチェックを付ける項目】

印刷しないものにチェックを付けてください。
※提出用・控用の両方にチェックを付けた場合
全く印刷されませんのでご注意ください。

3. 指定が終わったら「F5:終了」を押します。
4. 個人の場合は、個人番号印刷指定画面を表示します。※手順はP.43をご参照ください。

令和2年以降償却資産申告書プログラム 1001 (dev/pts/9)

拡大表示 縮小表示

令和○年以降 償却資産申告書プログラム プリンター: NPP845(lp0)

ユーザコード ... 1001 項目選択 ... ページ 1 / 1

年度 ... 令和

ユーザ名 ... 株式会社 東京商事

印刷 プレビュー 申告先一覧

【白紙】

印刷 2: 【償却資産申告書】 調整

3: 【増加・全資産用明細書】

4: 【減少資産明細書】

【印刷する申告先を指定してください】 ※範囲には各一覧に表示しているNoを入力してください。
(市区町村コードではありません。)

範囲指定 1 - 5 ※申告先No.は最大5まで入力可能

個別指定 □ □ □ □ □

法人/個人番号は 法人番号: [1100] G P 申告情報登録
個人番号: マイナンバープログラムで登録してください。

1: プリント 3: プリント 4: 終了 5: 終了 8: 全指定 9: 指定

5. 左図の画面を表示します。

6. 印刷する帳票にチェックを付け、印刷範囲を指定します。

7. 印刷する申告先No.を指定します。
範囲指定: 連番で最大5申告先まで指定可能
個別指定: 申告先を5つまで指定可能

8. **印刷**又は**プレビュー**を選択します。

印刷する場合は **印刷** をクリック又は「F3:プリント」を押します。

※**プレビュー** はクリックのみ

dev/pts/37

2: 【償却資産申告書】を印刷します
F5キーで印刷中止
エンターキーで印字開始します。

9. 左図の画面を表示します。

Enter を押してください。

※ 印刷中止は **F5** キーを押してください。

《オフセット調整》 印字位置を調整する場合の指定方法です。

令和2年以降償却資産申告書プログラム 1001 (dev/pts/9)

拡大表示 縮小表示

令和○年以降 償却資産申告書プログラム プリンター: NPP845(lp0)

ユーザコード ... 1001 項目選択 ... ページ 1 / 1

年度 ... 令和

ユーザ名 ... 株式会社 東京商事

印刷 プレビュー 申告先一覧

【白紙】

印刷 2: 【償却資産申告書】 調整

3: 【増加・全資産用明細書】

4: 【減少資産明細書】

【印刷する申告先を指定してください】 ※範囲には各一覧に表示しているNoを入力してください。
(市区町村コードではありません。)

範囲指定 1 - 5 ※申告先No.は最大5まで入力可能

個別指定 □ □ □ □ □

法人/個人番号は 法人番号: [1100] G P 申告情報登録
個人番号: マイナンバープログラムで登録してください。

1: プリント 3: プリント 4: 終了 5: 終了 8: 全指定 9: 指定

1. 調整(グレー枠)の□をクリックします。

00:プリントオフセット調整(dev/pts/37)

拡大表示 縮小表示

プリンター名: 新(償却) 帳票名: 【償却資産申告書】

現在のオフセット

横 0.0 mm (調整範囲 -10.0 ~ 20.0) [従来値 0.0]

縦 0.0 mm (調整範囲 -10.0 ~ 20.0) [従来値 0.0]

拡大縮小 100.00 % (調整範囲 85.00 ~ 105.00) [従来値 100.00]

約 0.15 mm 単位設定のため 入力値を補正することがあります

縦・横それぞれ、移動させたい方向と量を確認し、入力してください。
ただし、上方向もしくは左方向に移動させる場合は、マイナス(-)で
ここで入力した補正値は、上記のプリンターで上記の帳票に対してのみ有効です。
補正値によっては用紙からはみ出したり、印刷されない場合があります。

2: 戻る 5: 終了 8: 初期化

2. 左図の画面を表示します。

印字を「何mm」ずらすかを入力します。

右にずらす場合 横: ○○ mm

左にずらす場合 横: - ○○ mm

下にずらす場合 縦: ○○ mm

上にずらす場合 縦: - ○○ mm

※調整値はプリンタごとに記憶します。

3. 設定が終了したら、「F5:終了」を押します。

入力・訂正機能（各キーの機能説明）

各キーには以下の機能があります。

【項目を移動するキー】

E n t e r	次項目に進みます。
→	次項目に進みます。
← T a b	1 項目前に戻ります。
↓	1 行下に進みます。
↑	1 行上に戻ります。

【訂正時に使うキー】

← →	1 文字ずつカーソルが移動します。
Delete	カーソルの文字を 1 文字ずつ消します。
Back Space	カーソルの 1 文字前の文字を消します。
E n d	カーソルの文字以降を全部消します。
抹 消 （F 4）	1 項目に入力されたものを全部消します。
Shift + → 後 → ←	訂正したい文字のある項目にカーソルを止め 項目内でカーソルが移動できます。

【画面を切り替える時に使用するキー】

Page Down Ctrl + ↓	画面を下へ移動（スクロール）します。
Page Up Ctrl + ↑	画面の上へ移動（スクロール）します。
Ctrl + Page Down Ctrl + → }	画面を右へ移動（スクロール）します。
Ctrl + Page Up Ctrl + ← }	画面を左へ移動（スクロール）します。

【計算するキー】

演 算 (F 7) 入力した金額を集計し、計算結果を表示します。

【データ読み込みで使用するキー】

G P 申告 (F 8) 同一ユーザコードの[1100] G P 申告情報登録の法人登録画面を呼び出します。

【各資産登録画面で使用するキー】

空 行 (F 8) 空欄行にカーソルを移動します。

【登録や終了時に使うキー】

全 終 了 (F 5) 入力したものを登録します。
登録が終了すると最初の画面に戻ります。

Home 又は **Shift + 終・HOME** (F 5) データを書き込まずに終了します。
※プリント時には無効です。

【記憶に使うキー】

Insert 入力してある項目を記憶し、他の項目欄にコピーします。

<操作方法>

××銀行	
△△銀行	
■	

ここへコピーする方法

- 1) コピー元の項目にカーソルを移動し **Insert** を押します。(記憶させます)
- 2) コピー先の項目(空欄)にカーソルを移動し **Insert** を押しますと、コピー元の項目の内容がコピー先の項目に表示します。

住所入力の便利な機能

7桁郵便番号変換ができます。(全プログラム共通)

例) 東京都千代田区神田松永町と入力する場合：郵便番号は、「101-0023」となります。

1. 101-0023 と入力し、**スペース** を1～2回押します。

画面左下の表示が

101-0023 → 東京都千代田区神田松永町 → 千代田区神田松永町
の順に変換します。

2. 上記のように変換していきますので **Enter** を押して決定します。
残りの住所は手入力となります。

※ Windowsの漢字変換の設定により変換できる場合とできない場合があります。

入力画面の説明

※グリーンの  はウィンドウを開くボタンになっています。(以下『サブミット』と表記) マウスの矢印を合わせて左クリックを1回押していただきますと、各項目に応じた選択画面を開くことができます。(サブミットにカーソルが止まった際にスペースを押して画面を開くこともできます。)

※ピンクの  はチェックボックスとなっています。

該当する場合はマウスを合わせて左クリックを1回押していただきますと ☒ チェックマークを付けることができます。(☐ 枠にカーソルが止まった際にスペースを押しても ☒ を付けることができます。)

12 税務会計上の償却方法	☐ 定率法	☐ 定額法
13 青色申告	☒ 有	☐ 無
年 1月 1日	マウスでクリックするとチェックマークが付きます。	

※グリーンの ○ はラジオボタンとなっています。

該当する項目にマウスを合わせて左クリックを1回押していただきますとその項目に●(黒丸)が付きます。

選択の解除は **抹消** (F 4) 又は **END** キーにて行います。

(ラジオボタンにカーソルが止まった際にスペースを押しても●を付けることができます。

初期設定が入っている項目は消すことはできません。どちらか一方に丸を付けてください。)

12 税務会計上の償却方法	☐ 定率法 ☐ 定額法
13 青色申告	☒ 有 ☐ 無
年 1月 1日	

該当項目にマウスを合わせて左クリックを1回押します。

※グレー枠  は自動計算枠です。(手入力できません。)

※オレンジ枠  は自動計算枠ですが手入力もできる枠となっています。

手入力後は黄色枠  に変わります。(手入力データ優先)

自動計算された金額を表示しない場合は「.」を入力しますと、空欄で表示されます。

(空欄表示にした場合、印刷や電子申告でも表示されることはありません。)

手入力データを消す場合は、**抹消** (F 4) 又は **END** を押します。

(自動計算結果を表示し、オレンジ枠  に戻ります。)

資産の種類		取得価額	前年中 減少：減少77が有の資産／増加：申告年が25年の資産		
		前年前に取得したもの(イ)	前年中に減少したもの(ロ)	前年中に取得したもの(ハ)	計 (ニ) ((イ)-(ロ)+(ハ))
1	構 築 物	8,800,000	3,000,000	3,650,000	9,450,000
2	機 械 装 置	9,607,206	5,300,000	17,974,500	22,281,706
3	船 舶				
4	航 空 機				
5	車 両 運 搬 具				
6	工 具 器 具 備 品	3,750,000		2,035,900	5,785,900
7	合 計	22,157,206	8,300,000	23,660,400	37,517,606

オレンジ枠は手入力もできる枠です。
手入力した場合は黄色の枠に変わります。

グレー枠は自動計算です。(手入力できません。)

※ **前頁** (F 1) ・ **次頁** (F 2)

全資産用で前頁、次頁を呼び出すことができます。

※画面切替は画面表示サイズを3段階の大きさに切り替えることができます。

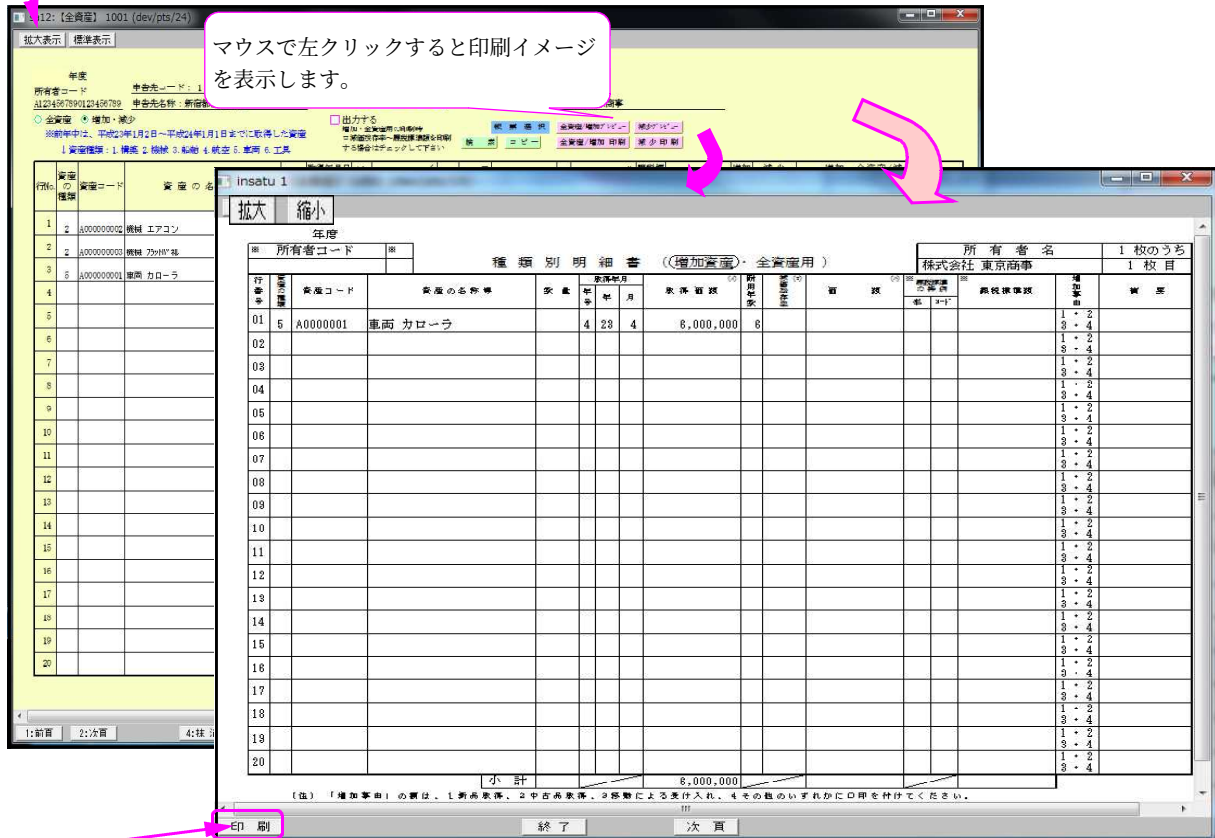
キーボードの **Home** でも操作可能です。

下図のように画面左上に、**拡大表示**・**標準表示**・**縮小表示**を押すことにより3段階に画面が切り変わります。

※**プレビュー** 又は **〇〇プレ** は印刷イメージを画面で表示する為のボタンです。

印刷イメージを見る表にマウスを合わせ左クリックを1回押してください。

画面にプレビューを表示します。

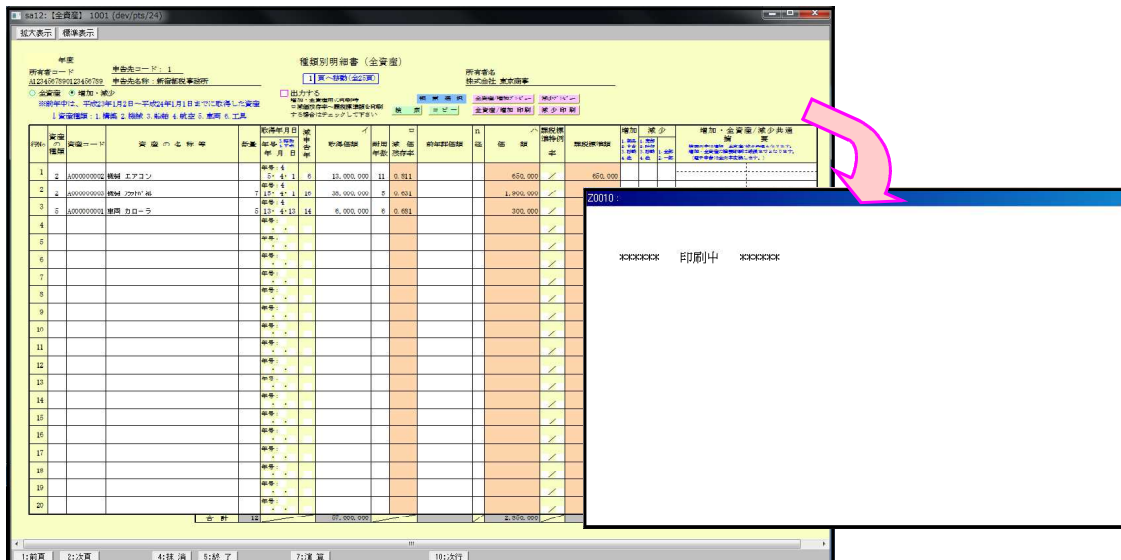


プレビュー後、印刷も可能です。

上図のように印刷イメージを表示します。

画面左上にある**拡大**・**縮小**を押すことにより3段階に画面が切り変わります。

※**印刷** 又 **〇〇印刷** は指定ボタンの表を白紙印刷します。**印刷**にマウスを合わせて左クリックを1回押しますと『印刷中』と表示して印刷が始まります。



【よく使用する文字の登録】

例)「〇〇事務所」と登録します。

- 1.項目に登録したい文字を入力します。
例) 税理士名の項目に税理士名を入力
- 2.登録する文字を表示したらマウスボタンの右をクリックします。
- 3.マウスメニューより「選択リストへ登録」を選択します。
- 4.再度、マウスボタンの右をクリックした際にマウスメニューに「登録した文字」を表示したら登録完了です。
※尚、登録した文字は登録順に保存していきます。

※登録データを削除するには

マウスの右ボタンをクリックし、「選択リストから削除」にマウスを合わせると登録してある文字を表示しますので削除する項目をクリックしてください。

【[コピー] [貼り付け]】

任意の語句を一時的に記憶し、別の項目へコピーすることができます。
(語句の記憶は同一表内に限ります。)

- 1.コピーしたい語句の上で、マウス右ボタンをクリックし、[コピー]を選択します。
- 2.コピーしたい項目に移動し、マウスの右ボタンをクリックし、[貼り付け]を選択します。

帳票選択

帳票選択 (青色)は、青い枠にマウスを合わせて2回左クリックすると関連した帳票を表示します。
該当するものを選択し、1回左クリックします。

帳票選択は他の帳票を表示します。

元号欄は元号を表示します。

法人/個人番号は法人番号: [1100] 申告書情報登録個人番号: マイナンバープログラムで登録して下さい。

コピー

コピーにマウスを合わせて1回左クリックすると、下図の画面を表示しますのでコピー元の行とコピー先の行を入力し**実行**を押してください。
コピー後は**終了**(F5)を押してください。

コピーをクリックすると下図の画面を表示します。

コピーをクリックしてください。

【コピー】

[]行目 → []行目ヘッダコピーします。

実行

4: 抹消 5: 終了 7: 演算

検 索

検索にマウスを合わせて1回左クリックすると、下図の画面を表示します。

検索をクリックしてください。

【検 索】
資産コード又は資産名称を入力し、検索実行を押してください。 検索実行

資産コード... 資産の名称...

行No.	資産コード	資産の名称等	取得年月日	取得価額
1	5 A0000001	車両 カローラ		
2	A0000002	機械 エアコン		
3	A0000010	機械 フォットボルト		
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

指定行へ ← 行Noへカーソルを止めて【指定行へ】をクリックするとその行へカーソルを移動します。
終了(F5)を押した場合は、1行目へカーソルが戻ります。

4:抹消 5:終了 7:演算

資産コード、または資産の名称から検索ができます。いずれかに入力し、画面上部の検索実行のボタンをクリックします。

- ・資産コード...完全一致した資産
 - ・資産の名称...項目の一部が一致した資産
- を一覧表示します。

検索した資産の行頭へカーソルを移動し、指定行へを押すとその資産へ移動します。

※終了(F5)を押した場合は1行目へカーソルが戻ります。

例) 資産名称に『エアコン』と入れて、検索実行を押します。

『機械 エアコン』が検索にヒットして一覧へ表示します。

カーソルを『機械 エアコン』の行頭に移動し、指定行へを押すと、入力画面2行目にカーソルが移動します。

【検 索】
資産コード又は資産名称を入力し、検索実行を押してください。 検索実行

資産コード... 資産の名称... エアコン

行No.	資産コード	資産の名称等	取得年月日	取得価額
1	5 A0000001	車両 カローラ		
2	A0000002	機械 エアコン		
3	A0000010	機械 フォットボルト		

指定行へ ← 行Noへカーソルを止めて【指定行へ】をクリックするとその行へカーソルを移動します。
終了(F5)を押した場合は、1行目へカーソルが戻ります。

4:抹消 5:終了 6:行編集 7:演算 10:次行

[11] 償却資産申告書メニュー

償却資産申告書の申告先No.は『1～40』まで登録できます。

申告先ごとに提出先名は必ず入力してください。

※電子申告対応に伴い、申告先No.1は必ず本店を登録してください。

『※必須項目※』

[法人・個人]

申告先No.1にて指定変更できます。

※GP申告情報登録より申告書への転記が変わります。

[本店・支店・寮等]

No.1のみ本店となります。

No.2以降の初期値は支店となります。

[全資産、増加・減少]

増加・減少資産が初期値となります。

全資産の場合は切り替えてください。

※種類別明細書の印刷時の判定となります。

[11]償却資産申告書・[12]全資産用の入力は、必ず提出先名と必須項目を登録してから行ってください。

【申告先について】

登録している申告先の一覧表示と印刷ができます。

また、行編集機能にて申告先No.の編集ができます。

申告先No. ボタンをクリックすると左下図の画面を表示します。

一覧印刷を選択するとA4コピー用紙横に画面同様の一覧を印刷します。

行編集 をクリックすると「申告先一覧」を表示し、申告先No.の編集ができます。(編集方法は次頁参照)

行編集

償却資産申告書及び全資産データを別の申告先No.へ移動、削除することができます。

1. 申告先一覧の『1～40』の項目にカーソルを止めて、**行編集**(F6)を押します。

No.	申告先No.	申告先名
1	1	新宿都税事務所長
2	2	千代田都税事務所長
3	3	豊島都税事務所長
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

2. ファンクションキーが以下に変わります。

行抹消(F2)・・・カーソル行の申告先No.を削除します。
※申告先No.は削除分繰り上がります。

行挿入(F3)・・・カーソル行の申告先No.の前に挿入します。
※申告先No.は挿入分繰り下がります。

行入替(F4)・・・指定した2つの申告先No.を入れ替えます。

3. 行編集終了後、**終了**(F5)を押します。

4. 下図の画面を表示します。
行編集した内容を有効にするためには[F4:継続]を押してください。

※[F5:中止]を押した場合、行編集内容は無効になります。

申告先No.	申告先名	市町村コード	市町村名
1	新宿都税事務所長	13104	新宿区
2	千代田都税事務所長	13101	千代田区
3	豊島都税事務所長	13118	豊島区
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			

5. 編集が終わると左図の画面に戻ります。

・選択No.に番号を入力して **Enter** を押すと、指定した申告先に移動します。

・選択No.を入力せず **終了**(F5)を押した場合は、No.1の申告先に戻ります。

申告先No.	申告先名	市町村コード	市町村名
1	新宿都税事務所長	13104	新宿区
2	千代田都税事務所長	13101	千代田区
3	豊島都税事務所長	13118	豊島区
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			

[11] 償却資産申告書

指定した申告先No.の償却資産申告書を表示します。
GP申告情報登録からの基本内容及び、種類別明細書からの金額の転記があります。

提出先名がある場合
GP申告情報登録から転記します
※入力枠が白の項目は転記なし

sa11:【償却資産申告書】1001 (dev/pts/6)

拡大表示 標準表示

令和 ○ 年度
償却資産申告書(償却資産課税台帳)

提出年月日は平入力 市町村コード

提出年月日 令和 ○ 年 1 月 31 日 電子申告専用
新居 都税事務所長 税 市町村コード: 13104 *所有権コード
新居 都 税 局 : 新居区 100004

1 住所 (フリガナ) 東京都新居区新居1-2-3
2 氏名 (法人フリガナ) 株式会社 新居商事
(個人フリガナ) 山田太郎
(代表氏名又は氏名) 山田太郎
3 法人番号/個人番号 12345678901234

4 事業種別 ☐小売業
5 償却耐用年数等欄 ☒有 ☐無
(資本金等の額) 100 百万円
6 増加減部の届出 ☒有 ☐無
7 事業開始年月 令和 3 年 4 月
8 償却税額当資産 ☒有 ☐無
9 課税標準の特例 ☒有 ☐無
10 この申告に 11 特別償却又は圧縮記載 ☒有 ☐無
応答する者 山田 花子
12 特別償却又は圧縮記載 ☒有 ☐無
13 税額計算上の償却方法 ☒定率法 ☐定額法
14 青色申告 ☒有 ☐無

15 市(区)町村内における事業所等資産の所在地
[1] 新居区新居2-3-1
[2] 新居区新居7-3-8
[3] 水2件

16 業主の名称等
新居リース株式会社
新居区新居3-3-6 TEL03-5560-0000

17 事業所用資産の所有区分 ☒自己所有 ☐借家

18 備考(非付帯事項等)
☒種類別明細の送付希望 (※1行目へ印刷)
取組年度(償却年度)した。
令和元年11月1日廃止された。
(旧)ニス・ゼット印刷 株式会社
(新)株式会社 新居商事

資産の種類	取得価額 前年までに取得 したもの(イ)	前年中に減少 したもの(ロ)	前年中に取得 したもの(ハ)	前年中に1年の資産 計 (ロ)-(イ)+(ハ)
1 機 器 物	12,450,000	3,800,000		3,650,000
2 機 械 装 置	21,513,226	12,916,726	3,978,000	17,974,500
3 船 舶				
4 航 空 機				
5 車両運搬具				
6 工具器具備品	4,326,900	2,750,000	1,260,000	2,036,900
7 合 計	38,439,126	25,066,726	10,238,000	23,640,400

19 出力する (※)から(下)を印刷する場合にチェックして下さい。

資産の種類	評価額 (ホ)	決定価額 (ヘ)	課税標準額 (ト)	件数
1 機 器 物	2,599,595	2,599,595	1,299,797	
2 機 械 装 置	9,239,408	9,239,408	2,536,064	
3 船 舶				
4 航 空 機				
5 車両運搬具				
6 工具器具備品	1,142,898	1,142,898	104,354	
7 合 計	12,981,902	12,981,902	3,940,200	

歩合(減価) 55,100

4:抹消 5:終了 7:演算 8:GP申告

種類別明細書から
金額を転記します

【償却資産申告書 転記元及び計算と注意】

※GP申告情報登録からの転記は、提出先(申告先)名がない場合は行いませんのでご注意ください。

NO	計算式及び転記元	文字数及び注意点
申告年度	ユーザコードを指定した際の年度を自動表示 手直し可	
提出年月日	元号：令和・平成 手入力	
申告先	申告先No.メニューで入力した申告先名を表示	〇〇長まで入力のこと
市区町村コード	電子申告を行う場合は市区町村コードを入力してください。 市区町村名はコードから自動表示します。	市区町村コード 電子申告と同様の表を表示
所有者コード	手入力	半角英数:20桁
フリガナ	法人:GP申告の納税地の住所フリガナより転記 個人:GP申告の自宅住所のフリガナより転記	半角60文字 (半角56文字まで普通文字)
住所	法人:GP申告の納税地の住所より転記 個人:GP申告の自宅住所より転記	漢字30文字 (漢字28文字まで普通文字)
電話	法人:GP申告の納税地の電話番号より転記 個人:GP申告の自宅電話番号より転記	
氏名	法人:GP申告の法人名フリガナより転記 ※個人転記無入力不可	フリガナ:半角40文字
氏名フリガナ	法人:GP申告の法人名より転記 ※個人転記無入力不可	漢字20文字
氏名フリガナ	法人:GP申告の代表者名フリガナより転記 個人:GP申告の氏名フリガナより転記	フリガナ:半角40文字
氏名フリガナ	法人:GP申告の代表者名より転記	漢字20文字
氏名	個人:GP申告の氏名より転記	
屋号	法人:転記なし手入力可 個人:GP申告の屋号より転記	漢字18文字
個人/法人番号	法人:GP申告の法人番号より転記 個人:マイナンバープログラムで個人番号の登録がある場合で、氏名・住所・生年月日が一致する個人番号を出力します。(P.40～参照)	13桁 12桁
事業種目	法人:GP申告の事業内容より転記 個人:GP申告の業種名より転記	訂正する場合はF8:GP申告にて行ってください。
資本金等の額	法人:空欄時にGP申告の資本金又は出資金より転記 個人:転記なし手入力	6桁 百万円単位
事業開始年月	元号：令和・平成・昭和・大正・明治 転記無 手入力	
申告に回答する者	※上段白枠は手入力 下段-法人:GP申告の経理責任者名より転記 下段-個人:GP申告の経理担当者より転記	漢字12文字×2行
税理士氏名	※上段白枠は手入力 GP申告の税理士氏名又は名称より転記	漢字20文字×2行
税理士電話	GP申告の税理士等事務所の電話番号より転記	訂正する場合はF8:GP申告にて行ってください。
8～12・14・16	○有 ○無 ※選択してください。	両方付けない場合は抹消(F4)
13・17	□ ○○ ※クリックするとチェックが付きます。	
15資産の所在地	手入力	漢字20文字×2行 (漢字13文字まで普通文字)
16貸主の名称等	手入力	漢字20文字×2行 (漢字15文字まで普通文字)

18備考	手入力 ☐ 種類別明細書の送付希望 チェックを付けると備考の1行目に「種類別明細書の送付希望」と印字します。この記載があると電子申告している場合でも明細が送付されてきます。(チェックがついている場合、1行目の入力はできません)	漢字20文字×7行 (漢字16文字まで普通文字)
(イ)(ロ)(ハ)	全資産用から該当する資産の金額を転記します。 前年前/前年中の判定は、全資産用の「申告年」が元となります。 全資産用入力の際は、 申告年の年号・年の両方を必ず入力してください。	
【取得価額】		
[1～6] 前年前に取得したもの(イ)	資産種類の番号ごとに集計 (1.構築物～6.工具器具備品) 申告年度より前の申告年に該当する資産の取得価額を転記	
[1～6] 前年中に減少したもの(ロ)	資産種類の番号ごとに集計 (1.構築物～6.工具器具備品) 減少の事由7㉠がある資産の取得価額を転記	
[1～6] 前年中に取得したもの(ハ)	資産種類の番号ごとに集計 (1.構築物～6.工具器具備品) 申告年度と一致する申告年に該当する資産の取得価額を転記	
[計] (ニ) (イーロ＋ハ)	(イーロ＋ハ)を自動計算	
[7]合 計	各縦計	
(ホ)(ヘ)(ト)	☐ 出力する チェックをつけた場合のみ(ホ)(ヘ)(ト)の金額を印刷します。 ※電子申告の変換もチェックの有無により変わります。	
【評価額等】		
[1～6] 評価額(ホ)	資産種類の番号ごとに集計 (1.構築物～6.工具器具備品) 該当する評価額を全資産より転記	
[1～6] 決定価格(ヘ)	評価額(ホ)を転記	
[1～6] 課税標準額(ト)	資産種類の番号ごとに集計 (1.構築物～6.工具器具備品) 該当する課税標準額を全資産より転記	
件数	手入力	3桁
[7]合 計	各縦計	※課税標準額(ト)は千円未満切捨て
参考(概算)	課税標準価額(ト)の合計が150万円以上の場合に計算 [ト合計]×0.014 ※100円未満切捨て	

[12] 全資産用

指定した申告先No.の全資産用入力画面を表示します。
増加資産・全資産と減少資産を共通入力する画面になっています。

増加資産・全資産と減少資産の種類別明細書は、各明細書に該当する資産を抽出して印刷します。
全資産/増加レビューと減少レビューにて、画面で印刷が確認できます。

※新減価償却読み込みで、元データに追加した場合などは行編集のソート機能等を使用すると便利に編集できます。(ソートは資産の種類、取得年月日順となります。)

増加資産か全資産かの印刷判定となります。

sa12【全資産】10010

拡大表示 標準表示

令和0年度 令和0年1月2日～令和0年1月1日

申告先No. 100004 申告先名称 新設 新設事務所

1 全資産 2 増加・減少

1 前年中増加は「申告年」の令和0年度の資産

1 資産種類: 1.構築 2.機械 3.船舶 4.航空 5.車両 6.工具

1 1 戻る(全資産)

出力する

増加・全資産用(資産別) 減少・全資産用(資産別) 全資産/増加レビュー 減少レビュー

印刷 印刷 全資産/増加印刷 減少印刷

行No.	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月日 年 月 日	取得価額 円	耐用年数	減価率 %	前年評価額 円	評価額 円	評価率 %	課税標準額 円	増加	減少	増加・全資産/減少共通 備考
1	1		アスファルト舗装工事	1	令和0年1月1日	3,650,000	10	0.794	3,333	2,599,595	1/2	1,299,797			
2	2		複写機	1	令和0年1月1日	7,325,000	10	0.897		6,573,216	1/3	2,191,972	1		
3	2		製本用機	1	令和0年1月1日	1,650,000	7	0.860		1,419,000	1/12	115,250	1		
4	2		デジタル印刷機	1	令和0年1月1日	5,995,500	4	0.562		1,247,192	2/11	226,762	4		車庫もれ分H20改正前10年
5	6		広域セット式	1	令和0年1月1日	1,250,000	8	0.875		1,102,500	1/11	100,227	1		車庫もれ分
6	6		BS36型テレビ	1	令和0年1月1日	375,000	5	0.631		30,648	1/10	3,054	4		R1.6年度
7	6		ハイブリッド(PV)	1	令和0年1月1日	400,000	4	0.562		9,843	1/9	1,090	3		
8	1	9900001	ジャグジー	1	令和0年1月1日	3,000,000	15	0.858					2	2	1
9	1	9900001	電気設備	1	令和0年1月1日	5,900,000	15	0.858					4	2	
10	2	9200002	船舶機	1	令和0年1月1日	3,702,208	10	0.794					3		R1.6年度区へ移動
11	2	0300002	70-L印刷機	1	令和0年1月1日	2,909,520	10	0.794					1		3台のうち2台(5,819,000円)を(有)H2021年度へ売却し台帳の資産名変更
12	2	0400001	2リットル印刷機	1	令和0年1月1日	1,850,000	10	0.794					4		取得年月の申告の誤り
13	2	0400002	大型船舶機	1	令和0年1月1日	2,105,000	10	0.794					4		H20年度申告修正による
14	2	0500001	製本用機	1	令和0年1月1日	2,000,000	7	0.720					4		
15	6	1200004	6-L727	5	令和0年1月1日	1,250,000	6	0.681					4		
16	6	1600001	30-L71機	1	令和0年1月1日	2,500,000	5	0.631					4		
17															
18															
19															
20															
合 計				20					3,333	12,991,992		3,940,255			

1:ソート 2:行抹消 3:行挿入 4:行入替 5:終了 6:コピー

申告年は必ず入力してください

- ・申告書への転記(前年前/前年中)の判定
 - ・各種別明細書の印刷判定
- になっています。

【全資産用 計算、転記及び注意】

※注「前年中」…例)令和4年度の場合

・取得年月日令和3年1月2日～令和4年1月1日

※1 ☐ 出力するにチェックがない場合、増加・全資産明細書で印刷しない項目

NO	計算式及び転記元		文字数及び注意点
申告年度	償却資産申告書で入力した申告年及び申告期間を表示		
所有者コード	償却資産申告書で入力した所有者コードを表示		
申告先コード	償却資産申告書にユで入力した申告先コードを表示		
申告先名称	償却資産申告書にユで入力した提出先名を表示		
所有者名	法人:償却資産申告書の法人名を表示 個人:償却資産申告書の氏名を表示		
○全資産	○増加・減少 償却資産申告書にユと連動		増加資産か全資産かの印刷判定 ※電子申告でも使用
※前年中増加は「申告年」が○年の資産			
□出力する	申告年度を表示します。 増加・全資産用の印刷時に(ロ)減価残存率から課税標準額を印刷する場合はチェックをしてください。		※電子申告の変換もチェックの有無により変わります。
資産の種類	手入力:1~6	減価償却転記有	1:構築物 2:機械及び装置 3:船舶 4:航空機 5:車両及び運搬具 6:工具、器具及び備品
資産コード	手入力	減価償却転記有	半角英数:10桁
資産名称等	手入力	減価償却転記有	漢字19文字
数量	手入力	減価償却転記有	半角:5桁
取得年月日	手入力 年号:3.昭和・4.平成・5令和 (1.明治・2.大正) ※年号を入力せず、年月日を入力した場合は自動的に5.令和が入ります。 「日」は用紙にはありませんが、判定にかかわりますので入力してください。	減価償却転記有	年号:1桁 年月日:各2桁
申告年 (必須)	取得年月日にて自動表示します。異なる場合は訂正してください。 ※取得の日が入っていないと自動表示しません。 例)取得年月日:令和3年1月1日…申告年は令和3年 取得年月日:令和3年1月2日～令和4年1月1日 …申告年は令和4年		年号:1桁 年:2桁 年号と年を必ず入力してください。 計算・印刷・申告書への転記等の判定となります。 年号と年の両方の入力がない場合は、正しい判定ができません。 ※取得年月日が前年中(※注) より後の場合はクリア ※減少資産の申告年の 印刷要/不要選択有
取得価額 (イ)	手入力		14桁 ※取得年月日が前年中(※注) より後の場合はクリア
耐用年数	手入力:2~100年	減価償却転記有	3桁 ※取得年月日が前年中(※注) より後の場合はクリア
減価残存率	耐用年数に一致する率を自動表示:手入力可		5桁
※1	経(n)が空欄で取得年月日が前年中の場合 耐用年数に一致する減価残存率Aで計算 例)耐用年数12年 A率 0.912 B率0.825 A率 0.912を表示		※取得年月日が前年中(※注) より後の場合はクリア

減価残存率 ※1	経(n)が空欄で取得年月日が前年前の場合 耐用年数に一致する減価残存率Bで計算 例)耐用年数12年 A率 0.912 B率0.825 B率 0.825を表示 経(n)が有の場合 耐用年数に一致する減価残存率Bを表示 例)耐用年数12年 A率 0.912 B率0.825 B率 0.825を表示	※(n)は取得年月日が前年前の場合のみ入力可
前年評価額 経 (n)	手入力 手入力 経過年数を入力します。※価額の計算が変わります。	14桁 2桁 ※取得年月日が前年中(※注)は入力できません。
価 額 ※1	自動計算：手入力可 経(n)が空欄で取得年月日が前年中の場合 取得価額×残存率(A率) ※円未満切捨て 例)取得価額100万 耐用年数12年 A率 0.912 $1,000,000 \times 0.912 = 912,000$ 経(n)が空欄で取得年月日が前年前の場合 前年評価額×残存率(B率) ※円未満切捨て 例)取得価額100万 前年評価額 912,000 耐用年数12年 B率0.825 $912,000 \times 0.825 = 752,400$ ※ただし算出した評価額が取得価額の5%を下回る場合 (取得価額×0.05>前年評価額×残存率の場合) 取得価額×0.05 ※円未満切捨て 経(n)が有の場合 取得価額×耐用年数に一致するA率×(B率) ⁿ⁻¹ 例)取得価額100万 耐用年数12年 A率0.912 B率0.825 経過年数(n)3年 $1,000,000 \times 0.912 \times (0.825)^{3-1} = 620,730$	
課税標準の特例率 ※1	手入力：分子／分母	1桁/2桁 印刷は以下ようになります 1/12→112、2/3→203
課税標準額 ※1	自動計算：手入力可 課税標準の特例率無の時 価額 課税標準の特例率有の時 価額×課税標準の特例率(分子/分母) ※円未満切捨て	
増加事由	手入力：1～4	1.新品 2.中古 3.移動 4.その他
減少事由	手入力：1～4	1.売却 2.除却 3.移動 4.その他
減少区分	手入力：1～2	1.全部 2.一部
増加全資産/減少共通摘要	手入力：上下行各20文字 [増加・全資産の摘要印刷文字数] 漢字10文字×2行表示 ※漢字6文字まで普通文字印刷 [減少資産の摘要印刷文字数] 漢字20文字×2行表示 ※漢16文字まで普通文字印刷	※電子申告においては、増加・全資産/減少に関係なく、上下行各20文字を変換します
合 計	[数量]縦計を表示・印刷 [取得価額(イ)]縦計を表示・印刷 [前年評価額]縦計を表示 [価額(ハ)]縦計を表示・印刷 ※1 [課税標準額]縦計を表示・印刷 ※1	※数量小計の印刷要/不要選択有

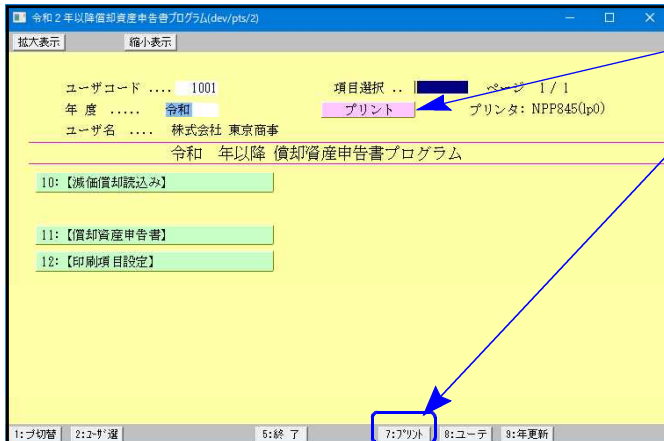
プリント

白紙A4用紙に印刷します。

電子申告に基づいた様式になっております。(モノクロ印刷)

償却資産メニューの全資産／増加・減少の選択により、増加資産か全資産かの印刷が変わります。また、複数の申告先を印刷指定した場合は、償却資産申告書・増加又は全資産明細書・減少資産明細書を、提出先ごと部単位で印刷します。

※マイナンバーの印刷等につきましては、P.38～をご参照ください。



1. **プリント** をクリック又は **プリント** (F7) キーを押します。

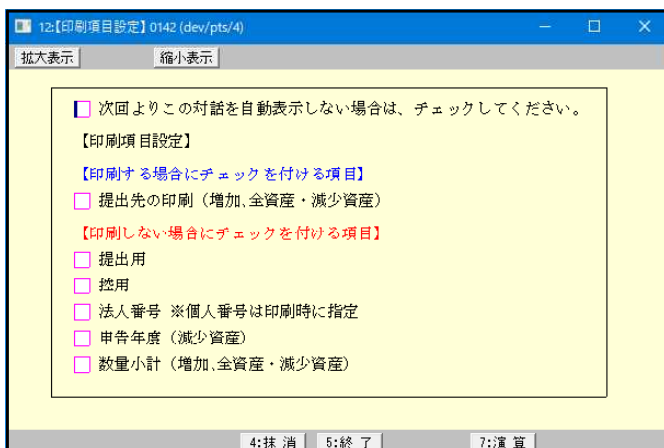
2. 左下図の印刷項目設定画面を表示します。
『印刷する項目』、『印刷しない項目』を指定します。

【印刷する場合にチェックを付ける項目】

増加、全資産・減少資産に任意で提出先名を印刷する場合はチェックを付けてください。

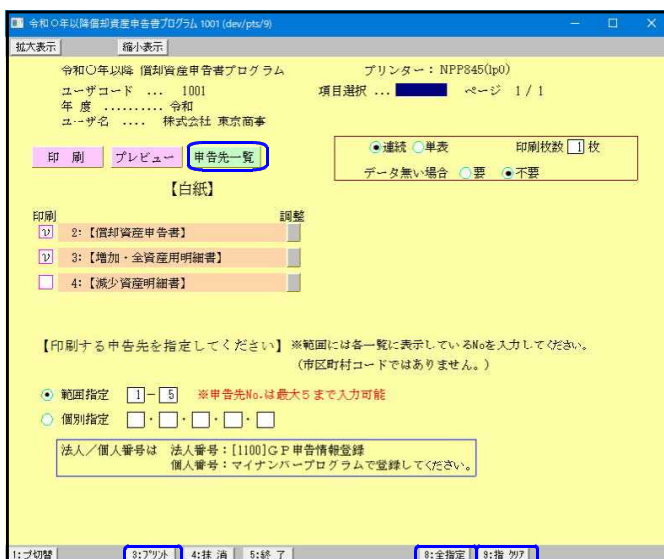
【印刷しない場合にチェックを付ける項目】

印刷しないものにチェックを付けてください。
※提出用・控用の両方にチェックをつけた場合
全く印刷されませんのでご注意ください。



3. 指定が終わったら「F5:終了」を押します。

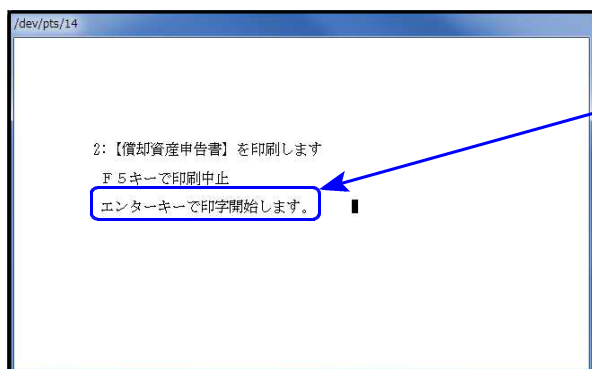
4. 個人の場合は、個人番号印刷指定画面を表示します。※手順はP.44をご参照ください。



5. 左図の画面を表示します。
プリントを行う帳票にチェックを付け、
印刷する申告先No.を指定します。
範囲指定:連番で最大5申告先まで指定可能
個別指定:申告先を5つまで指定可能
※申告先Noがわからない場合は**申告先一覧**
をクリックするとNoを確認できます。

6. 上記設定が終了したら **印刷** 又は **プレビュー** を選択します。
※「F3:プリント」キーでも印刷できます。

※全表を指定する場合は**全指定**(F8)キーを、指定を全て解除する場合は**指切り**(F9)キーを押します。



7. 左図の画面を表示します。
Enter を押してください。

※ 印刷を中止する場合は **F 5** キーを押します。

※複数のプリンタを持っている場合、切替が可能です。



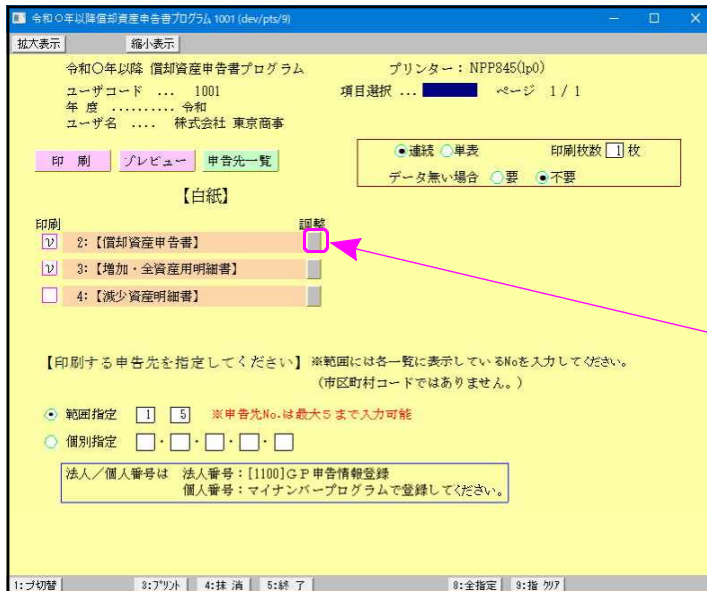
- 1) **プ切替** (F1)を押します。
- 2) 左図の画面を表示します。
 使用するプリンタの ☐ をクリックするか、
 下の[]に番号を入力し **Enter** を押します。
- 3) 指定が完了しましたら、**終了** (F5)を押して
 画面を閉じます。

ページプリンタのオフセット調整の操作(印字位置調整)

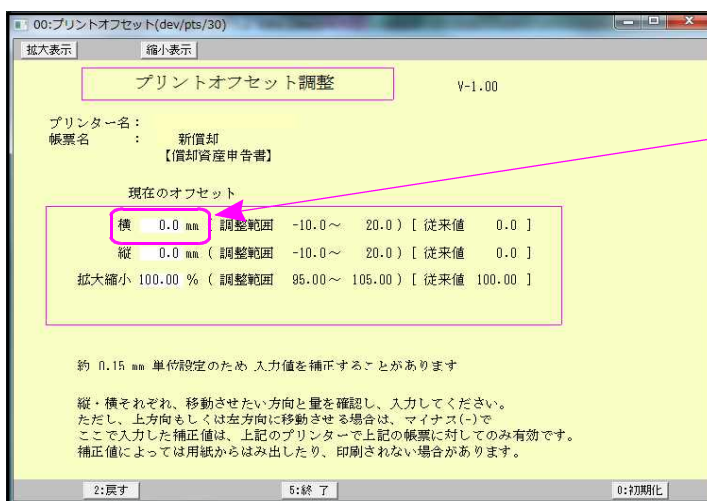
印字位置の調整が必要な場合は調整(グレー枠)の  をクリックしてください。

(※System-V及びLXにおいては、プリンタごと、各用紙で調整値を記憶します。プログラムが変わった際には再設定が必要です。)

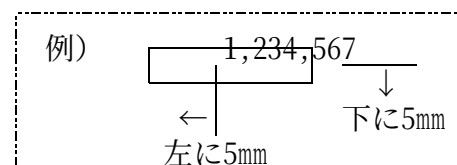
印字がずれたら、以下の手順で作業を行ってください。



1. 各用紙を1枚ずつ印字し、印字のズレ具合(上下左右に何mm)を確認します。
2. 印刷する帳票の  をクリックし、チェックマークを付けます。
3. 調整(グレー枠)の  をクリックします。



4. 左図画面を表示します。
5. 印字を「何mm」ずらすかを入力します。(下図例を参照ください)



縦方向

印字を下に5mmずらす(下に移動) → 5.0
上に5mmずらす(上に移動) → -5.0

横方向

印字を右に5mmずらす(右に移動) → 5.0
左に5mmずらす(左に移動) → -5.0

6. 設定が完了したら、**終了**(F5)で終了します。

プリントオフセット調整値を設定してプリントを行っても、用紙のセット位置や給紙装置の状態等により、印字がズレる場合がありますのでご了承ください。

年度

年 1 月 25 日

受付印

新宿都税事務所長 殿

償却資産申告書(償却資産課税台帳)

※ 所 有 者 コー ド

1 住 所 〒160-0000 東京都新宿区西新宿1-2-0 〇〇ビル3F (又は納税通知書記載住所) (電話 03 - 0000 - 1111)	3 個人番号又は法人番号 4 事業種目 (資本金等の額) 100 5 事業開始年月 昭和 83 年 4 月	8 短縮耐用年数の承認 有・☒ 無・☐ 9 増加償却の届出 有・☒ 無・☐ 10 非課税該当資産 有・☒ 無・☐ 11 課税標準の特例 有・☒ 無・☐ 12 特別償却又は圧縮記帳 有・☒ 無・☐ 13 税務会計上の償却方法 ☒ 定額法 ☒ 定率法 14 青色申告 有・☒ 無・☐
2 氏 名 カバシタ イシヤ トキヨウショウシ 株式会社 東京商事 代表取締役 大蔵太郎 (法人にあってはその名称及び代表者の氏名) (屋号)	6 この申告に回答する者の氏名及び氏名 経理課 中央花子 (電話 03 - 5321 - 0000) 7 税理士等の氏名 税理士 太郎 (電話 042 - 555 - 1111)	

資産の種類	前年取得したもの (イ)	前年中に減少したもの (ロ)	前年中に取得したもの (ハ)	計 ((イ)-(ロ)+(ハ)) (ニ)	15 市(区)町村内における事業所等資産の所在地
1 建築物	8,800,000	3,000,000	3,650,000	9,450,000	① 新宿区西新宿2丁目8-1
2 自動車等	9,807,208	9,807,208	17,974,500	17,974,500	② 新宿区西新宿7丁目5-8
3 船 舶					③ 他2件
4 航空機					貸主の名称等
5 船舶等					16 借用資産 (イ) 評価額 (ロ) 課税標準額
6 工具等	3,750,000		2,035,900	5,785,900	17 事業所等
7 合 計	22,157,208	12,807,208	23,880,400	33,210,400	18 備考(添付書類等)

(ホ)評価額から(ロ)課税標準額は印刷しません

資産の種類	評 価 額 (イ)	決 定 価 格 (ロ)	課 税 標 準 額 (ハ)	件 数
1 建築物				
2 自動車等				
3 船 舶				
4 航空機				
5 船舶等				
6 工具等				
7 合 計			000	

18 備考(添付書類等)

種類別明細の送付希望

年10月3日(株)税務運送を吸収合併(非適格合併)平成27年11月1日商号変更(旧)〇〇〇〇印刷(株)

新)△△△印刷(株)

※ ☐ 出力するにチェックが有の場合

年 度		年 1 月 25 日		所 有 者 コー ド	
受付印 新宿都税事務所長 殿 償却資産申告書(償却資産課税台帳)					
所 住 所	1 (フリガナ) 所 トキョウトシシブユウキンシヨウ 東京都新宿区西新宿1-2-0 〇〇ビル3F (電話 03-0000-1111)		3 個人番号又は法人番号		8 短縮耐用年数の承認 有・ ☒
	(又は税務課長)		4 事業種目 (資本金等の額) 〇〇事業 (100)		9 増加償却の届出 有・ ☒
	2 (フリガナ) 氏 名 カバシキガイシャ トキョウシヨウツ 株式会社 東京商事 材方 知 大蔵太郎 (屋号)		5 事業開始年月 昭和 63 年 4 月		10 非課税該当資産 有・ ☒
	(法人にあってはその名称及び代表者の氏名)		6 この申告に回答する者の氏名及び氏名 経理課 中央花子 (電話 03-5321-0000)		11 課税標準の特例 有・ ☒
		7 税理士等の氏名 税理士 太郎 (電話 042-555-1111)		12 特別償却又は圧縮記帳 有・ ☒	13 税務会計上の償却方法 ☒ ☒
				14 青色申告 ☒ 無	
資産の種類	前年前に取得したもの (イ)	前年中に減少したもの (ロ)	前年中に取得したもの (ハ)	計(イ)-(ロ)+(ハ) (ニ)	15 市(区)町村内における事業所等資産の所在地
1 構築物	8,800,000	3,000,000	3,850,000	9,450,000	① 新宿区西新宿2丁目8-1
2 構築物	9,607,206	9,607,206	17,974,500	17,974,500	② 新宿区西新宿7丁目5-8
3 船 舶					③ 他2件
4 航空機					16 借入資産 (有)
5 構築物					17 事 件 数
6 工業用器具等	3,750,000		2,035,900	5,785,900	18 備考(添付書類等) 種類別明細の送付希望 年10月3日(株)税務運送を吸収合併(非 適格合併)平成27年11月1日商号変更 旧)〇〇〇〇印刷(株) 新)△△△印刷(株)
7 合 計	22,157,206	12,607,206	23,880,400	33,210,400	
資産の種類	評 価 額 (イ)	決 定 価 格 (ロ)	課 税 標 準 額 (ハ)		
1 構築物	3,274,050	3,274,050	3,274,050		
2 構築物	7,105,541	7,105,541	7,105,541		
3 船 舶					
4 航空機					
5 構築物					
6 工業用器具等	1,141,295	1,141,295	1,141,295		
7 合 計	11,520,886	11,520,886	11,520,000		

全資産 出力サンプル ☐ 出力するにチェックがない場合

※提出先を印刷時に出力するか指定可能です。

年度 新宿都税事務所長 殿

※所有者コード 042 100004*0 ※ 種類別明細書 (増加資産・全資産用)

所有者名 株式会社 東京商事 1枚のうち 1枚目

行 番 号	資産 の 種 別	資産 コ ー ド	資産 の 名 称 等	数 量	取得年月			取得 価 額	耐用 年 数	減価 償 却 率	備 考	課 税 標 準 額	増 加 の 種 別	減 少 の 種 別
					年 号	年	月							
01	1	A100000001	アスファルト舗装工事を	1	4	27	4	3,650,000	10					
02	2	B100000001	オフセット印刷機	1	4	27	6	7,328,000	10					
03	2	B100000002	製本用機械	1	4	17	8	1,650,000	7					
04	2	B100000003	デジタル印刷機	1	4	18	9	8,996,500	4					
05	6	C100000010	応接セット一式	1	4	27	6	1,260,000	8					
06	6	C100000011	B S 36型テレビ	1	4	19	6	375,900	5					
07	6	C100000012	ノートパソコン(PCV3)	1	4	20	11	400,000	4					
08	1	A100000003	受変電設備	1	4	03	05	5,800,000	15					
09	6	C100000013	ルームエアコン	5	4	04	04	1,250,000	6					
10	6	C100000014	カラーコピー機械	1	4	4	8	2,500,000	5					
11														
12														
13														
14														
15														
16														
17														
18														
19														
20														
小 計				14				33,210,400						

(注) 「増加事由」の欄は、1 新品取得、2 中古品取得、3 移動による受け入れ、4 その他のいづれかに○印を付けてください。

(12)減価残存率から課税標準額は印刷しません

申告もれ分
前10年
M28.3文京区
前10年
申告もれ分
H28.6
港工場

申告年が前年中以前で、取得額があり、減少事由フラグのない資産を抽出して印刷します

印刷設定で印刷しないを選択することも可能です

全資産 出力サンプル □ 出力するにチェックが有の場合※電算計算用
※提出先を印刷時に出力するか指定可能です。

年度 新宿都税事務所長 殿

※所有者コード		種 類 別 明 細 書 (増加資産・全資産用)										所 有 者 名		1枚のうち	
042 100004*0												株式会社 東京商事		1枚目	
行 番 号	資産 コード	資産の名称等	数 量	取得年月			取得 価額	耐用 年数	減価 率	前 額	減価 率	課税標準額	増 加 事 由	備 考	
				年 号	年	月									
01	1 A100000001	アスファルト舗装工事を	1	4	27	4	3,650,000	10	0.897	3,274,050		3,274,050	①・2 3・4		
02	2 B100000001	オフセット印刷機	1	4	27	6	7,328,000	10	0.897	6,573,216		6,573,216	①・2 3・4		
03	2 B100000002	製本用機械	1	4	17	8	1,650,000	7	0.720	82,500		82,500	①・2 3・4	申告もれ分 前10年	
04	2 B100000003	デジタル印刷機	1	4	18	9	8,996,500	4	0.562	449,825		449,825	①・2 3・4	M26.3文京区 前10年	
05	6 C100000010	応接セトー式	1	4	27	6	1,260,000	8	0.875	1,102,500		1,102,500	①・2 3・4		
06	6 C100000011	B S 36型テレビ	1	4	19	6	375,900	5	0.631	18,795		18,795	①・2 3・4	申告もれ分	
07	6 C100000012	ノートパソコン(PCV3)	1	4	20	11	400,000	4	0.562	20,000		20,000	①・2 3・4	H26.6 港工場	
08	1 A100000003	受変電設備	1	4	03	05	5,800,000	15	0.858				①・2 3・4		
09	6 C100000013	ルームエアコン	5	4	04	04	1,250,000	6	0.681				①・2 3・4		
10	6 C100000014	カラーコピー機械	1	4	4	8	2,500,000	5	0.631				①・2 3・4		
11													①・2 3・4		
12													①・2 3・4		
13													①・2 3・4		
14													①・2 3・4		
15													①・2 3・4		
16													①・2 3・4		
17													①・2 3・4		
18													①・2 3・4		
19													①・2 3・4		
20													①・2 3・4		
小 計			14				33,210,400			11,520,886		11,520,886			

(注) 「増加事由」の欄は、1新品取得、2中古品取得、3移動による受け入れ、4その他のいづれかに○印を付けてください。

申告年が前年中以前で、取得額があり、減少事由フラグのない資産を抽出して印刷します

印刷設定で印刷しないを選択することも可能です

(D)減価残存率から課税標準額を印刷します

増加資産 出力サンプル □出力するにチェックがない場合
※提出先を印刷時に出力するか指定可能です。

年度 新宿都税事務所長

所有者コード 042 100004*0

種類別明細書 (増加資産・全資産用)

所有者名 株式会社 東京商事

1枚のうち 1枚目

行 番 号	資産の 種類	資産コード	資産の名称等	数 量	取得年月			取得価額	耐用年数	償却率	償却額	減価償却累計額	減価償却率	減価償却率 の 種 別	課税標準額	増 加 額	備 考
					年 号	年 月	月										
01	1	A100000001	アスファルト舗装工事を	1	4	27	4	3,850,000	10								
02	2	B100000001	オフセット印刷機	1	4	27	6	7,328,000	10								
03	2	B100000002	製本用機械	1	4	17	8	1,650,000	7								
04	2	B100000003	デジタル印刷機	1	4	18	9	8,996,500	4								
05	6	C100000010	応接セット一式	1	4	27	6	1,280,000	8								
06	6	C100000011	B S 36型テレビ	1	4	19	6	375,900	5								
07	6	C100000012	ノートパソコン(PCV3)	1	4	20	11	400,000	4								
08																	
09																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	
16																	
17																	
18																	
19																	
20																	
小 計				?				23,660,400									

(注) 「増加資産」の欄は、1新品取得、2中古品取得、3移動による受け入れ、4その他のいずれかに○印を付けてください。

(㊦)減価残存率から課税標準額は印刷しません

申告もれ分
前10年
M26.3文京区
前10年
申告もれ分
H26.6
港工場

申告年が前年中で、取得額がある資産を抽出して印刷します

印刷設定で印刷しないを選択することも可能です

増加資産 出力サンプル □ 出力するにチェックが有の場合※電算計算用
※提出先を印刷時に出力するか指定可能です

年度 新宿都税事務所長 殿

※所有者コード		種類別明細書 (増加資産・全資産用)										所有者名		1枚のうち	
042 100004*0												株式会社 東京商事		1枚目	
行 番 号	資産 の 種類	資産コード	資産の名称等	数 量	取得年月			取得価額	耐用年数	減価残存率	価 額	課税標準額	増加事由	備 考	
					年 号	年	月			(%)					
01	1	A100000001	アスファルト舗装工事を	1	4	27	4	3,650,000	10	0.897	3,274,050	3,274,050	①・② ③・④		
02	2	B100000001	オフセット印刷機	1	4	27	6	7,328,000	10	0.897	6,573,218	6,573,218	①・② ③・④		
03	2	B100000002	製本用機械	1	4	17	8	1,650,000	7	0.720	82,500	82,500	①・② ③・④	申告もれ分 前10年	
04	2	B100000003	デジタル印刷機	1	4	18	9	8,996,500	4	0.562	449,825	449,825	①・② ③・④	M28.3文京区 前10年	
05	6	C100000010	応接セット一式	1	4	27	6	1,280,000	8	0.875	1,102,500	1,102,500	①・② ③・④		
06	6	C100000011	B S 36型テレビ	1	4	19	6	375,900	5	0.631	18,795	18,795	①・② ③・④	申告もれ分	
07	6	C100000012	ノートパソコン(PCV3)	1	4	20	11	400,000	4	0.562	20,000	20,000	①・② ③・④	H28.6 港工場	
08															
09															
10															
11															
12															
13															
14															
15															
16															
17															
18															
19															
20															
小 計				7				23,660,400			11,520,886	11,520,886			

(注) 「増加事由」の欄は、1.新品取得、2.中古品取得、3.移動による受け入れ、4.その他のいずれかに○印を付けてください。

申告年が前年中で、取得額がある資産を抽出して印刷します

印刷設定で印刷しないを選択することも可能です

(r)減価残存率から課税標準額を印刷します

減少資産 出力サンプル

※提出先を印刷時に出力するか指定可能です。

年度 新宿都税事務所長 殿

※ 所有者コード		種類別明細書（減少資産用）										所有者名		1枚のうち	
042 100004*0												株式会社 東京商事		1枚目	
行 番 号	減 少 の 種 別	抹消コード	資産の名称等	数 量	取得年月			取得価額	耐用 年数	申告 年数	減少の事由及び区分				備 考
					年 号	年	月				1 3 移 動	2 除 却	4 其 他	1 全 部	
01	1	A100000002	コンクリート舗装	1	3	63	7	3,000,000	15	1	1・②・3・4	①・2			
02	2	B100000004	裁断機	1	4	2	10	3,702,206	10	3	1・2・3・④	①・2	H27.8 港区工場へ移動		
03	2	B100000006	スクリーン印刷機	1	3	14	7	1,800,000	10	15	1・2・3・④	1・②	台帳の資産名称の変更		
04	2	B100000007	大型裁断機	1	4	14	12	2,105,000	10	15	1・2・3・④	1・②			
05	2	B100000008	製本用機械	1	4	15	06	2,000,000	7	16	1・2・3・④	1・2	省令改正による		
06											1・2・3・4	1・2			
07											1・2・3・4	1・2			
08											1・2・3・4	1・2			
09															
10															
11											1・2・3・4	1・2			
12											1・2・3・4	1・2			
13											1・2・3・4	1・2			
14											1・2・3・4	1・2			
15											1・2・3・4	1・2			
16											1・2・3・4	1・2			
17											1・2・3・4	1・2			
18											1・2・3・4	1・2			
19											1・2・3・4	1・2			
20											1・2・3・4	1・2			
小 計				5				12,607,206							

申告年が前年中以前で、取得額があり、減少事由フラグがある資産を抽出して印刷します

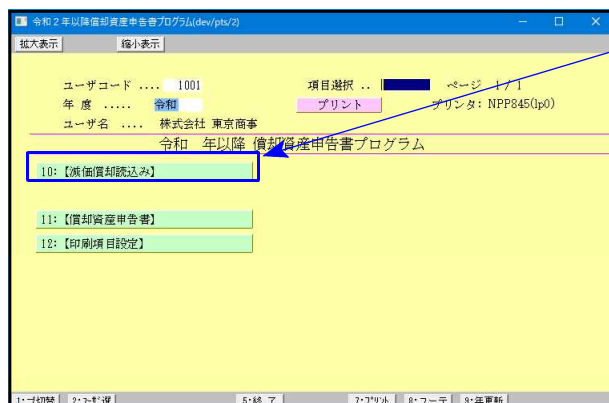
印刷設定で印刷しないを選択することも可能です

第十号様式別表（提出用）

[10]減価償却読み込み

- ・償却資産申告書プログラムでは、[170]減価償却データを読み込むことができます。
- ・減価償却のユーザコード・年度(データ年度)・申告先Noを指定して変換します。
あらかじめ[170]減価償却プログラムの個別入力にて、変換したいデータに償却資産申告書種類(1~6)の入力が必要です。
読み込み項目につきましては次頁を参照してください。
- ・複数の申告先データを[170]減価償却においてユーザコードで管理している場合、[170]の各資産の個別入力で、あらかじめ申告先登録している事業所コードを入力しておくことにより申告先ごとにデータを読み込ませることができます。

<操作方法>



1. 左図の画面で、[10]減価償却読み込みをクリックするか項目選択で[10] **Enter** を押してください。

2. 下図の画面を表示します。ユーザコード・年度・申告先No・読み込み方法を指定します。
変換する行の ☐ にチェックを付けて **減価読み** をクリックすると減価償却データを読み込みます。

読み込み方法・・・全上書：現在あるデータを削除して、指定した減価償却の償却資産申告書種類があるデータを読み込みます。

追加：現在あるデータの次行以降に、指定した減価償却の償却資産申告書種類があるデータを追加します。(読み込み期間を必ず入力してください。)

※申告先No.を指定しない場合は、指定ユーザコード・指定年度の償却資産申告書種類があるデータ全部を読み込みます。

	No.	ユーザコード	ユーザ名	年度	申告先No	読み込み方法	結果
☒	1	1001	株式会社 東京商事	令和	〇	追加 ●全上書	○
☐	2					追加 ●全上書	
☐	3					追加 ●全上書	
☐	4					追加 ●全上書	
☐	5					追加 ●全上書	
☐	6					追加 ●全上書	
☐	7					追加 ●全上書	
☐	8					追加 ●全上書	
☐	9					追加 ●全上書	
☐	10					追加 ●全上書	
☐	11					追加 ●全上書	
☐	12					追加 ●全上書	
☐	13					追加 ●全上書	
☐	14					追加 ●全上書	
☐	15					追加 ●全上書	
☐	16					追加 ●全上書	
☐	17					追加 ●全上書	
☐	18					追加 ●全上書	
☐	19					追加 ●全上書	
☐	20					追加 ●全上書	

[170]減価償却データ読み込み内容

固定資産・少額資産・リース資産データの償却資産種類に「1～6」のコードがあるものを読み込みます。

読み込む項目は、

償却資産申告種類コード・償却資産コード・資産名称・数量・取得年月日・取得価額・耐用年数(※少額資産は耐用年数(地方税)欄)・除却売却区分(売却→1.売却 廃棄→2.除却 その他→4.他として読み込み)です。

【固定資産及びリース資産】

sd11: 【固定資産登録】 1001 (dev/pts/7)

拡大表示 縮小表示

【固定資産台帳】

一覧入力 コピー ヘルプ 検索
帳票選択 個別印刷

1 1 頁へ移動(全700頁)

ユーザ名	株式会社 東京商事
事業年度	自 4・1 至 8・31
計算年月日	8・31 (単位:円)

行No.	1
資産種類	02 建物付属設備
コード	2001
資産名称	電気設備
構造名	
細目名	
数量・単位	
取得年月日	2・1
償却方法	1:定額償却 2:定率償却
取得価額	1,800,000

期首簿価	54,002
残存価額	
償却の基礎金額	80,000
耐用年数	15 年
償却率	12/60
償却月数	12 月
普通償却額	17,999
調整前償却額	
割合 %	100
割増/特別区分	
割増特別償却	
当期償却額	17,999
期末帳簿価額	96,003
償却累計額	1,763,997
摘要	均等償却

改定償却率	改定取得価額
保証率	保証額

※除却・売却するにチェックが入っている場合のみ年月日等入力可

☐ 除却・売却する

区分 年月日 平

計算方法

エラー

事業所コード	1 本店
部門コード	1
申告先	1 新宿都税事務所

7:演算

種類コード 1～6のものを
償却資産で読み込みます

【少額資産】

sb16: 【少額資産登録個別入力】 1001 (dev/pts/3)

拡大表示 縮小表示

【少額資産台帳】

一覧入力 コピー ヘルプ 検索
帳票選択 個別印刷

1 1 頁へ移動(全60頁)

ユーザ名	株式会社 東京商事
事業年度	自 4・1 至 3・31
計算年月日	3・31 (単位:円)

行No.	1
資産種類	6 工具器具備品
コード	13001
資産名称	コピー機
構造名	
細目名	コピー機
数量・単位	
取得年月日	8・1
取得価額	280,000
期首簿価	280,000

割合 %	100
当期償却額	280,000
摘要	

※除却・売却するにチェックが入っている場合のみ年月日等入力可

☐ 除却・売却する

区分 年月日 平

エラー

事業所コード	1 本店
部門コード	
申告先	1 新宿都税事務所

1:前頁 2:次頁 4:抹消 5:終了 6:行編集 7:演算

種類コード 1～6のものを
償却資産で読み込みます

申告先をあらかじめ登録した事業所コードを入力
しておくことで、償却資産申告書のユーザコード内で
申告先ごとにデータを読み込むことができます
※次頁参照

【申告先ごとに読込む場合】

[170]減価償却で以下の登録・入力が必要です。

減価償却メニュー (/dev/pts/2)

減価償却プログラム (新元号対応版)

ユーザコード ... 1001
年 度 ... 令和 ○
ユーザ名 ... 株式会社 東京商事
入力用紙選択 (1/2ページ)

1: [基本情報登録] ← G-P 申告情報のデータがない場合、先に
2: [資産種類登録]
3: [申告先登録]
4: [事業所登録]
5: [部門登録]

11: [固定資産登録]
15: [一括償却資産登録]
16: [少額資産登録] ← 固定資産に含めて印刷する場合は少額資産の入力
17: [リース資産登録(定額)] 画面で印刷設定を行ってから実行してください。
20: [科目合計リスト]

用紙番号 ...

切替 更新 終了 次頁

- ① 3:申告先登録
申告先を登録します。
 - ↓
 - ② 4:事業所登録
事業所に対して申告先コードを設定します
 - ↓
 - ③ 11:固定資産登録
16:少額資産登録
17:リース資産登録(定額)
- 各資産の個別入力にて事業所コードを入力します。

3: [申告先登録] 1001 (dev/pts/0)

拡大表示 縮小表示

① 【申告先登録】

ユーザ名: 株式会社 東京商事

行No.	申告先名 部署名	郵便番号	申告先所
1	新宿都税事務所 固定資産課税課	180 - 0000	東京都新宿区○○○
2	立川市役所	180 - 0000	東京都立川市○○○
3	所沢市役所	359 - 0000	埼玉県所沢市○○○

↑
申告先コード

4: [事業所登録] 1001 (dev/pts/1)

拡大表示 縮小表示

② 【事業所登録】

ユーザ名: 株式会社 東京商事

行No.	事業所 コード	事業所名	申告先 コード	申告先名
1	1	本店	1	新宿都税事務所
2	2	立川営業所	2	立川市役所
3	3	所沢営業所	3	所沢市役所

↑
各事業所に対して申告先コードを設定します。

11: [固定資産登録] 1001 (dev/pts/0)

拡大表示 縮小表示

【固定資産明細書】 個別入力 コピー ヘルプ
帳票選択 一覧印刷

ユーザ名: 株式会社 東京商事 自平 2

※演算(F7)を押さないで計算がかりません。(上書きデータも)
※資産種類で登録したコード番号を入力して下さい。 ※割

行No.	コード	名称	取得年月日	償却方法
1	2001	電気設備	平 4 . 2 . 1	平 16:5均等償却
2			平 23 . 10 . 1	

- ③ 事業所コードを入力すると
設定してある申告先を
表示します。

①～③を行っておくことにより、償却資産
の減価償却読み込みで申告先ごとの読み込みが
できます。

【新減価償却 読み込み指定】

変更中は、他の作業を行わないで下さい。
減価読み ← クリックするとチェックがついたユーザの新減価償却データを読み込みます。 全部付ける 全部外す

【追加用(読み込み期間)】

変更するユーザコード・年度・申告先No・読み込み方法を指定して下さい。 平成 25 年 1 月 1 日

No	ユーザコード	ユーザ名	年度	申告先No	読み込み方法	結果
1	1001	株式会社 東京商事	平 2	1	追加 全上書	

sd11: [固定資産台帳] 1001 (dev/pts/8)

拡大表示 縮小表示

【固定資産台帳】 一括入力 コピー ヘルプ 帳票選択 一覧印刷

1 | 頁へ移動(全700頁)

ユーザ名 株式会社 東京商事
事業年度 4 . 1 ~ 8 . 31
計算年月日 8 . 31 (単位: 円)

資産種類 01 建物付属設備
コード 2001
資産名称 電気設備
構造名
細目名
数量・単位
取得年月日 2 . 1
償却方法 16:5均等償却
取得価額 1,880,000

償却資産申告書種類 2 帳簿装置
償却資産コード A10000-001

固定償却率 固定取得価額
償却率 償却額

期首簿価	残存簿価	償却の基礎金額	耐用年数	償却率	償却月数	普通償却額	調整前償却額	割合%	割増/特別区分	割増特別償却	当期償却額	期末帳簿価額	償却累計額	均等償却
54,002		80,000	15 年	12/60	12 月	17,989		100			17,989	86,008	1,789,887	

※計算・印刷するにチェックが入って
いる場合は減価償却台帳から入力

除却・売却する
区分
年月日 平 . .
計算方法

エラー

事業所コード 1 | 本店
部門コード 1
申告先 1 新宿都税事務所

1:前頁 2:次頁 4:抹消 5:終了 7:演算

3. 減価読みが終了すると、結果を表示します。

【結果】

○：指定した[170]減価償却データすべてを読み込めた時に表示

×：指定した[170]減価償却にデータがない時に表示

△：指定した[170]減価償却データが償却資産の全行(500行)以上あり、すべてを読み込めなかった時に表示

※読み込み順：償却資産申告書種類コード順の固定資産・少額資産・リース資産の順です。

4. 読み込み後は以下を必ず入力・確認してください。

① [11] 償却資産申告書にて 申告先(提出先) を入力してください。

申告先に入力がないと、G P 申告情報登録からの転記ができません。

② [12] 全資産用を開いて、『申告年 必須』欄に年号と年が入っているかを確認し、入っていない場合は計算・印刷が正しくできませんので、必ず年号と年を入力してください。

[170] 減価償却データに取得年月日の日まで入っている資産については、自動で申告年が入ります。

日の入力がない場合は、申告年が空欄になってしまいます。

年度更新内容

【償却資産申告書】 …データをそのまま移行 …年度更新処理 …データ削除
※記載していない項目…データ削除

用紙等	繰越項目
[10]新減価読み	追加用(読込期間): + 1 (初期値を自動表示) 年度: + 1 年 上記以外
[11]償却メニュー	1～40申告先: 繰越 必須項目: 繰越
[11]償却資産 申告書	申告年: + 1 提出年月日: 削除 金額及び件数: 全削除 ☐ 出力するのチェック: 繰越
[12]全資産	減少区分1～4: 繰越時削除する を選択した場合: 行削除 繰越時削除しないを選択した場合: 繰越 課税標準額→前年評価額 経過年・価額・課税標準額: 削除 ☐ 出力するのチェック: 繰越
[12]印刷項目 設定	全項目繰越

税務マイナンバー用データ搬出プログラムについて

税務署提出用紙に個人番号を印刷する為に、税務データをタテムラマイナンバー(オプションプログラム)で取り込んで個人番号の登録をすることが必要となります。

System-V 税務個人用各申告書データ搬入方法

税務個人用プログラム各申告書の本人及び、確定申告扶養家族情報を搬出し、マイナンバー用データとして取り込み後、各人のマイナンバー入力を行います。

● 事前準備

平成28年度以降、各申告書プログラムにおいてマイナンバー欄の番号は、

タテムラマイナンバーに登録されている氏名・生年月日・住所が完全一致する場合のみ印刷します。

以下の内容をご確認の上、搬入前に各データをあらかじめ整えていただきますようお願い致します。

◎税務プログラム [1100] G P申告情報登録・[330]確定申告書：家族情報

本人.....個人登録の氏名、生年月日、自宅住所
 扶養者(確定申告)・・・個人登録内の「確定：家族情報」
 扶養親族・専従者の氏名、生年月日、住所 } を搬入します。
 扶養親族・専従者の氏名及び住所は略さずに正しく入力してください。

[個人登録：本人の登録]

[確定：家族情報] : 扶養親族・専従者の登録

● データ搬入操作手順

事前準備で[1100]GP申告情報登録個人登録・[330]確定申告書：家族情報データを整えたら、搬出・搬入作業を行います。

【税務データの搬入手順】

- ① [1100] GP申告情報登録の個人登録画面にある「マイナンバー用データ搬出」ボタンを押して、データの搬出作業を行います。
- ↓
- ② 搬出したデータを、マイナンバープログラムの「税務データ搬入」ボタンを押して、データの搬入作業を行います。

①税務データ搬出作業

1. **[F9]** [1100]GP申告情報登録の
1:入力・訂正を選択
↓
3:個人登録を開きます

マイナンバーデータ搬出は
このデータ年が平成28年以降
の場合のみ作業ができます。

2. **マイナンバー用データ搬出** ボタンをクリックします。
3. 左図の画面を表示します。

タテムラマイナンバープログラムでは、
入力したマイナンバーを暗号化して
保存します。

データ暗号化のための『暗号キー』を
設定します。(半角英数字)

暗号キー：任意の半角英数字
暗号キー(確認)：暗号キーと同じ

を入力したら、データ搬出しますか？
の欄で **1** **Enter** と押します。

マイナンバー用データ搬出

搬出済のデータがすでに存在します
上書きしますか？

[F 4]:はい] [F 5]:いいえ]

※搬出データが既に存在する場合は、
左図の対話を表示します。

上書きする場合： はい(Y)

搬出を中止する場合： いいえ(N)

マイナンバー用搬出

登録情報

内：申告者 1件
内：配偶者 0件
内：扶養者 3件

[F 5]をキーイン]

4. 設定した暗号キーが登録されデータ搬出が完了すると、
搬出結果を表示します。

F5 キーを押します。

税務データ搬出は完了です。次に搬入作業を行います。

②税務データ搬入作業

タテムラ マイナンバー

税務データ搬入
ユーザリスト印刷

ユーティリティ
年調・法定搬入
ユーザリスト再作成

区分: ☐ 1:年調 2:法定 3:税務 4:管理

コード: 会社名

コード	区分	ユーザ名	状態	端末名	グループ名
4	年調	株式会社 空			
1001	年調	東京商事 株式会社			

F1 搬入搬出
F2 新規登録
F5 終了
F7 確定
F10 グループ管理

1. 『タテムラマイナンバー管理一覧』
の右上にある 税務データ搬入 ボタン
から、搬入プログラムを起動します。

税務搬入データ一覧

コード	年度	ユーザ名
1	XXXX	田中 正士
141	XXXX	東京 太郎

F5 終了
F7 確定

2. 搬出した税務データリストを表示します。

搬入するものをクリックして
F7確定 キーを押します。

タテムラ マイナンバー管理

年調・法定搬入
バックアップ

※ユーザコードと暗号キーを入力して「F7 編集」ボタンを押してください

ユーザコード

暗号キー

表示

年調
法定
税務
管理

F1 ログ管理
F2 削除管理
F5 終了
F7 編集

3. 管理用、又は入力用画面を表示します。

- ・搬入時に設定した『暗号キー』
- ・『税務』を選択

指定が終わったら、F7編集 をクリック
します。

4. 搬出した税務データを取り込んでマイナンバーデータが作成されると、左図のように、ユーザー一覧を表示します。

ユーザー一覧を表示したら
搬入作業は終了です。

● 既マイナンバーデータへ税務の登録を追加できます

税務の確定申告で扶養者を追加した場合等、再搬入することでマイナンバーデータへ追加登録ができます。

1. P.39「①税務データ搬出作業」からP.40「②税務データ搬入作業」まで行います。
※暗号キーは、既データと同一の英数字を指定してください。
暗号キーが一致しない場合、再搬入はできません。

2. P.40「②税務データ搬入作業の[3]」で **F7編集** をクリックしたあと、既にマイナンバーデータがある場合は下図の画面を表示します。

- ・再搬入してデータを更新： **F7更新**
- ・再搬入せず、編集作業へ： **F1スキップ**
- ・何もせず前の画面へ戻る： **F8キャンセル**

※不要な搬出データは削除できます。

削除するデータにチェックを付けて、**削除** ボタンをクリックします。

3. **F7 更新** 後、既にあるマイナンバーデータと、再搬入する同一コードのデータに、『氏名・生年月日・住所』で差異がある場合は下図の確認画面を表示しますので、更新方法を選択してください。

ユーザ選択

ユーザ情報が変更されています

マイナンバーデータ		法定区分
No.	1	
氏名	東京 太郎	
生年月日	昭和35/07/08	
住所	日野市日野新町 ○-○-○	
	ヒルズ日野7109	

↓

搬入データ	
No.	1
氏名	東京 太郎
生年月日	昭和35/07/08
住所	東京都日野市日野新町 ○-○-○
	ヒルズ日野7109

搬入データの登録内容に書き換えます。
マイナンバーは残ります。

以下の画面を表示します。

現在のマイナンバーデータがそのまま残ります。

確認

登録されているデータに削除フラグを付け、新たに登録します。よろしいですか？

はい(Y) をクリックすると、現在のマイナンバーデータを削除して、搬入データを新たに取り込みます。
マイナンバーは削除となりますので、再入力してください。

ユーザ一覧

年度: 年度 ユーザコード: 141 ユーザ名: 東京 太郎

ユーザ表示: ☒ 削除以外 ☐ 削除のみ ☐ 全て

法人/個人番号: 個人番号

削除	No.	名称・氏名等	法人/個人番号	生年月日	住所	法/個	システム区分	法定区分
☒	1	東京 太郎	昭和	35/07/08	東京都日野市日野新町 ○-○-○	個	/税	

※ 削除処理は「削除管理」画面で行います。

F2 新規登録 F3 番号確認・転記 ☐ グループ指定を有効にする F5 終了 F6 データ消去 F7 編集 F9 一覧印刷

法人・個人番号印刷方法

償却資産申告書の法人番号／個人番号印刷において、番号取得方法は異なります。
それぞれの番号登録方法は以下のとおりです。

法人番号登録 [1100] G P 申告情報登録で登録します。

法人の償却資産申告書印刷時、
G P 申告情報登録から番号を
取得して印刷されます。

個人番号登録 P.39のデータ搬入操作手順のG P 申告情報登録でマイナンバー用にデータ搬出
をして、タテムラマイナンバープログラムへ搬入後、個人番号を登録します。

[G P 申告情報登録 個人登録画面]

[マイナンバー用データ搬出]

搬出後、マイナンバープログラムを起動
して[税務データ搬入]し、個人番号を
登録します。

平成29年以降、個人の償却資産申告書印刷時
マイナンバーデータで氏名・生年月日・住所
が一致したデータの個人番号を取得して印刷
されます。

【法人番号／個人番号の印刷指定】

法人番号印刷

G P 申告情報登録に登録した法人番号が印刷されます。

12: [印刷項目設定] 0142 (dev/pts/6)

拡大表示 縮小表示

□ 次回よりこの対話を自動表示しない場合は、チェックしてください。

【印刷項目設定】

【印刷する場合にチェックを付ける項目】

☒ 提出先の印刷 (増加、全資産・減少資産)

【印刷しない場合にチェックを付ける項目】

☐ 提出用

☐ 控用

☒ 法人番号 ※個人番号は印刷時に指定

☐ 申告年度 (減少資産)

☐ 数量小計 (増加、全資産・減少資産)

4: 抹消 5: 終了 7: 演算

登録してある法人番号を印刷しない場合は、印刷項目設定のチェックボックスにチェックを付けてください。

個人番号印刷

平成29年以降データにおいて、マイナンバーデータで氏名・生年月日・住所が一致したデータの個人番号を取得して印刷されます。

『データ年が29年以降』の個人番号印刷の流れ

令和○年以降償却資産申告プログラム (dev/pts/5)

拡大表示 縮小表示

ユーザコード 142 項目選択 .. [V-8.10 72121-2.10] ページ 1 / 1

年度 令和 ○ プリント プリンタ: SS NPP845

ユーザ名 株式会社 東京商事

令和○年以降 償却資産申告書プログラム

10: 【減価償却読込】 11: 【償却資産申告】 12: 【印刷項目設定】

印刷 プレビュー 申告先一覧

【白紙】

印刷 2: 【償却資産申告書】 調整

3: 【増加・全資産用明細書】

4: 【減少資産明細書】

【印刷する申告先を指定してください】 ※

範囲指定 [1] - [1] ※申告先No. は最大5

個別指定 [] . [] . [] . [] . []

法人/個人番号は 法人番号: [1100] G P 申告 個人番号: マイナンバー

印刷枚数 [1] 枚

データ無い場合 [] 要 [] 不要

税務個人番号

個人番号の印刷

※[F4: する]を選択後、次の「暗号キー入力」画面を表示するまで少し時間がかかります

[F4: する] [F5: しない]

個人番号暗号キー (dev/pts/9)

拡大表示 縮小表示

個人番号 暗号キー ***

暗号キーを表示する

5: 終了

令和 ○ 年度

申告書 (償却資産課税台帳)

3 個人番号又は法人番号

マイナンバーデータの暗号キーを入力
↓
氏名・生年月日・住所が一致する
データを探し、一致データがあった
場合、個人番号が印刷されます